

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝礼時に声を出して読み上げ意識付けすることが出来ていて、実践につなげられる様にしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨今の情勢により地域との交流に厳しさを感じている、その中でも外でのイベントなどに一緒に参加したりなどは何とか出来ている。	以前は行事(バーベキュー、サンマ、クリスマス、祭りなど)交流が盛んであったが今現在は難しい、その中でもやれていると思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議の内容の共有や、そこで出た意見を取り入れサービス向上を行えるようにしている。	縁に来る機会がなくなり、文章をもらっても文章だけだとわからないことが多くなっている。意見を出せたものが活かされていけば良いと思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域ケア会議や運営推進委員会にて情報の共有を行い意見の交換を行っている。	運営推進委員会議くらいにしか参加できていない、その中でも市として出来る事があれば協力したいが、受け身でしかできないので難しい、顔を見て話をする機会も減っている為なじみも薄くなっている。市としても色々な職員が携わるようにしているのでこれからも意見があればいつでも声をかけてほしい。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アンケートの収集や、ユニット会議での共有し、法人の取り組みとしてみんなで取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人で「身体拘束廃止に関する指針」が作成されており5月には指針に基づき研修を実施し、2月に動画研修を行う予定。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修や、ユニット会議などで共有し、防止の徹底を心掛けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「高齢者虐待防止に関する指針」に基づき5月に実施し、9月に「不適切なケア・虐待のめチェックリスト」を行い確認している。3月に認知症の人の行為・行動を妨げない為の検討会を行っている。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修などを利用し学び、成年後見人制度などを利用されている方との支援の中で学んでいる。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム長、リーダー、計画作成が中心となり、納得して頂けるように努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アンケートの実施や、運営会議や、推進委員会議で話、反映させている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月ご利用者の会でご意見をもらっている。ご家族からもサービス向上の為のアンケートを実施し、公表し、ご意見を反映している。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見の提供、話しやすい環境になっている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面談やアンケートにて要望を聞き入れたり、日々の相談も話がしやすい環境にある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職場風土向上のアンケートから法人に意見をあげている。働き方改革として法人からも提案されたポスターを掲示している。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修や、研修の情報開示などで学べる仕組みがある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「桜井の里福祉会研修システム」に基づく研修を実施している。新規採用職員、2年目、3年目、5年目、10年目、指導的職員と経験応じた必要な研修を行っている。受けた研修は復命報告で他の職員と共有し実践に活かしている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨今の情勢などの清もあり、実感できるような交流の機会は設けることが出来なかった。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に家族と生活しているような 気持で接し、お互いに協力できる ような関係を築けるようにしてい る。			
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支 援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨今の事情で難しい中ではある が、今まで利用してきた美容院 や、市日への買い物などで支援 している。	オンライン面会があまり進んでいな い、ZOOM やスカイプなど使用してい こうとしているもなじみがなく難しい。 メールでの写真はありがたいのでこ れからも続けてほしい。電話等もい つでも自由に続けてほしい。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、 一日の過ごし方の希望や意向の把握に努 めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のご本人とのお話の中や、 ご家族とのお話の中でその方に 合った過ごし方をして頂けるよう にしている。			
17	チームでつくる介 護計画とモニタリ ング	本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3 か月に一度本人も交えモニタ リングを行ったり、日々のコミュニ ケーションの中で得たものを生 かせる様にしている。	プランのチェックは必要でPDCA サ イクルを意識してほしい。 本来 6ヶ月に 1 度で良いモニタリ ングを 3ヶ月毎に細かくしていて良いと 思う。体調に変化があった場合(入院 後)などには、プラン変更をしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3ヶ月に一度のモニタリングは必ず本 人も参加している。ご家族からも要 望があるか電話等に確認している。 実践できるプランを作成している。
18	個別の記録と実践 への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに 活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の記録入力、申し送りでの 情報共有し、日々のかかわりの 中で実践できるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケース記録では本人の言葉は●、家族 の言葉(意見)は△、職員の気づき等は ○などと分かりやすく表記し情報を共有 している。生活に必要なことはすぐにカン ファレンスを行い、ケース記録に記載の 上紙ベースで印刷し周知している。
19	一人ひとりを支える ための事業所の多 機能化	本人や家族の状況、その時々生まれる ニーズに対応して、既存のサービスに捉わ れない、柔軟な支援やサービスの多機能化 に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その都度のニーズに対応できる 様に職員同士で情報を共有した り、デイサービスの方などの利用 方法についてもご家族と相談し出 来る限り取り組んでいる。	状況などを鑑みて今は難しいかもし れないが、外で会うこともあるのでし ていただいていると思う。このまま継 続してほしい。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源 を把握し、本人が心身の力を発揮しながら 安全で豊かな暮らしを楽しむことができ るよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今の情勢では難しいが一緒に 買い物へ行ったり、地域で仕入れ た情報を伝え、話題にするように している。	地元の方との交流は今後も続けてい きたいと思う。今の状況が緩和され れば今後も続けてほしいと思う。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ほとんどの方が今までのおかかりつけ医で今も受診して頂けるように支援している。			
22	入退院時の医療機関との連携	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院の看護師、相談員と連絡を取りながら情報共有をしたり、早期退院できる様に協力している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	4月1名、5月1名、6月1名、10月2名、1月1名の入院者ある。病院へ付き添い、病院スタッフへ情報を提供し、医師からの説明の際にもできるだけ職員が参加しホームのできることやかかりつけ医への協力など伝え、早期退院に努めている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族とお話をしたり、アンケートをとったりして終末期ケアについて理解して頂けるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居契約の際の「入居者の重度化への対応とターミナルケアのかかる指針」を説明し、同意をもらって入居している。看護師と協働しかかりつけ医から看取りの協力を得ている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修や、訓練など行っているが実践力がついていないか不安な面もある。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月に一回の訓練に手集地位こない、自分でも備えられている。地域との協力も以前はしていたが昨今の情勢により今は出来ない。	今まで長年参加している中で縁ではよくやっていると思う。こちらで非常に評価できる。2階で火災が発生した場合、避難方法を消防を連携していく必要がある。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営計画の防災計画に基づき実施している。11月30日に消防立合い避難訓練を実施した。運営推進委員には大雨避難訓練を見学してもらっていた。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来るだけしないようには心掛けているが、日々の中での声掛けや、名前をお呼びする際など出来ないこともある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーの保護に関する動画研修を実施した。排泄の事や病気の事、プライバシーに関する事は皆様の前でしないよう注意しあっている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方の暮らしのペース、共同生活を円滑に行えるようにみんなで協力している。その日の天候などによって			

28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一緒に食事作りを行ったり、食べたい物をお聞きしたりなどして食事を提供している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	開設当初から食事はご利用者と職員が協力して買い物、下ごしらえ、一緒に食事、片付けをすることのこだわり実践している。冷蔵庫から食材を取り出し何が出来るか一緒に考えて作っている。急な要望で対応できない時は別の日になることもある。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理栄養士による指導、当日の職員同士の共有などを行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	声掛けを行い、必要な方は介助させていただいている。本人に合った用具を使用している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床時、昼食後、就寝前は念入りに口腔ケアをしている。いつでも歯磨きができるよう洗面台の脇に用意して状態に合わせて行っている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人のタイミングに合わせてトイレが出来る様に共有し、パット等の消費を抑える様にしたり、スムーズに交換できるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄の失敗をしないことを自立と評価せず、自分で交換することも支援している。起床時の水分補給や乳製品など取り入れ便秘予防に取り組んでいる。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なるべく本人のペースに合わせてる様にしているが、夜入浴の希望や、午後入浴希望等対応しきれない場面もある。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	小上がりや、お部屋でいつでも休んで頂けるようにお声掛けし、温度調節もしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬ケースに薬情、薬効を張ることで共有している。しっかりと本人と一緒に飲む薬を確認しながら服薬して頂いている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の配薬ミスが無いよう必ずひとり一人確認して服薬してもらっている。服薬後に体調の変化がないか確認している。飲み残しが無いようダブルチェックを行い、マニュアルも整備されている。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向を確認しながら行っている。さらに求められている方もいられるので、何とか行って頂けるようお声掛けしている。	飲酒などにも寛容で本人は楽しめているんだと思う。ビール、料理、おこわ作りなど安心して好きな事をこれからも本人の楽しみとして支援してほしいと思う		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出や散歩など希望時やお声掛けして頂き行っている。近所の市日などへの買い物も行っている。	散歩やドライブを中心に行っている、菊祭りなど季節行事なども行っていただけで嬉しい。続けてほしい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お部屋に本人用の金庫を準備させていただき、買い物などに行かれる際にそこから財布を取り出し一緒に買い物をしている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望時にさせて頂いている。中には家族と相談し携帯電話を使用して頂いている方もいる。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自分のペースを大切に頂いたうえで、フロア内を行事ごとに装飾したり、手ぬぐいの飾り物で時期を感じて頂けるようにしている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節の装飾をして一年を感じてもらっている。特に冬はこたつを立てのんびりと過ごすことができるようにしている。	
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人のペースに合わせながら出来るだけ思いに寄り添った暮らしが出来る様にしている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今までの生活様式などご家族にお聞きしたり、今までの習慣を継続して頂けるようにしている。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族への状態報告、かかりつけ医への受診などを行える様に支援した。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面については看護職員に常に相談できるようになっており、担当職員がご家族と一緒に受診をする場合もある。本人の体調に合わせてお部屋の配置変更も行っている。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来るだけご自分のペースで生活して頂けるように情報を提供し、円滑に動けるように協力している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの物などの持ち込みなどはあまりできていないが、大切にしているもの、事柄を身近に感じて頂けるように努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際の日頃から使用していた本人の物とわかるものは持参してもらっている。特に寝具は新しい物より使い慣れたものを使用してもらっている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自由に外に出られる様にしたり、模様野などの事前の声掛けなどを行い希望に添える様にしている。	出来るだけ出かけているようなので今後も続けてほしい。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	皆様と協力しながら家事仕事や、掃除、日々暮らして必要な事を行うようにしている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	活動の場面の提供を行いいきいき過ごせる様に支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自身の意向を発言できる方の活動はもちろんのこと、発言の無い方での散歩で戸外に出ることは支援している。十分に楽しめる方と活動が少ない方がいるのが現状である。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みのお店を利用して頂いたり、ご家族と協力して行えるようにしている。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来るだけより良い日々を送って頂けるように職員で情報を共有したり、皆様と協力して生活していける様に支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の買い物や市場なども買い物や近所散歩は継続できている。面会制限があり十分に地域との交流はできないが、四季折々の行事を行い楽しんでいただいている。